

第43回

全国学童保育指導員学校

九州会場のご案内



と き 2018年 6月 17日(日)
午前10時30分～午後4時30分

ところ 福岡県・春日市クローバープラザ

「共働き・一人親家庭等の小学生の放課後の安心・安全な生活を継続的に保障すること」「毎日の生活を通して子どもの健やかな成長を図ること」「保護者の働く権利と家族の生活を守ること」が学童保育の役割です。働きながらの子育てをするうえで、学童保育は、ますます必要性が高まっています。

学童保育は、2015年度より厚生労働省令「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」と「放課後児童クラブ運営指針」に基づく運営が行われることとなり、指導員には高い専門性が求められています。学童保育指導員の力量を高めるためには自己研鑽と現任研修が必要です。学童保育指導員が専門職としての自信と誇りを持って働き続けるために、ぜひ指導員学校にご参加ください。保護者や学童保育に関心のある方もこの機会にご参加ください。

- 主 催 全国学童保育連絡協議会
福岡県学童保育連絡協議会/長崎県学童保育連絡協議会/佐賀県放課後児童クラブ連絡会/
熊本県学童保育連絡協議会/宮崎県放課後児童クラブ連絡協議会/大分県放課後児童
クラブ連絡協議会/鹿児島県児童クラブ連絡協議会/沖縄県学童保育連絡協議会
- 後 援 福岡県/福岡市/北九州市/朝倉市/飯塚市/糸島市/うきは市/大川市/大野城市/大牟田市/
春日市/嘉麻市/久留米市/古賀市教育委員会/田川市教育委員会/太宰府市/小郡市/筑後市/
筑紫野市教育委員会/中間市/直方市/福津市/宮若市/みやま市/宗像市/柳川市/八女市/
芦屋町/宇美町/大木町/大任町/岡垣町/遠賀町/粕屋町教育委員会/香春町/鞍手町/桂川町/
小竹町/篠栗町教育委員会/志免町/新宮町/添田町/久山町/広川町/福智町/赤村/熊本県/
熊本市教育委員会/天草市/阿蘇市/荒尾市/宇城市/宇土市/上天草市/菊池市/合志市/
玉名市/水俣市/八代市/山鹿市/大津町/菊陽町/嘉島町/多良木町/長洲町/南関町/氷川町/
益城町/美里町/湯前町/苓北町/長崎県/長崎市/諫早市/大村市/西海市/佐世保市/平戸市/
南島原市/松浦市/川棚町/佐々町/長与町/波佐見町/東彼杵町/大分県/由布市/日田市/
嬉野市/神崎市教育委員会/小城市教育委員会/多久市教育委員会/有田町教育委員会/
大町町/上峰町教育委員会/江北町教育委員会/白石町/基山町/みやき町/宮崎県/延岡市/
日向市/都城市/高原町/鹿児島県/奄美市/鹿屋市/霧島市/龍郷町

◆ 日 程

10:00	10:30	12:30	13:30	16:30
受付	全体会	昼食	講 座	

◆ 全体会 (10:30～12:30)

- ・ 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- ・ 全体講義 「学童保育と子どもの放課後

～ 子どもの権利条約の視点から考える」

講師 増山 均 (元早稲田大学)



☆ 講師プロフィール

1948年、栃木県宇都宮市生まれ。日本福祉大学社会福祉学部教授を経て、3月まで、早稲田大学文学学術員教授。専門は、社会教育学、社会福祉学。子育て問題、教育・福祉問題、子どもの人権と文化問題など、総合的視点から「子ども研究」を進めている。早稲田大学文学学術院でゼミナールや論文指導を担当。また東京大学教育学部大学院客員教授も歴任。日本学童保育学会代表理事、『子ども白書』(日本子どもを守る会編集)の元編集長。子どもの権利条約市民NGO報告書をつくる会共同代表、「つくる会」通信編集長。東京都中野区、板橋区など各自治体の子育て支援・家庭教育・生涯教育関係講座の講師などを務める。著書●『アニメーションが子どもを育てる』(旬報社)、『余暇・遊び・文化の権利と子どもの自由世界』(青踏社)、『うばわないで!子ども時代』(共編著/新日本出版社)、「蠢動する子ども・若者」(共編著/本の泉社)、『子どもの放課後と学童保育』(新日本出版社)、『ファンタジーとアニメーション』(共編著/童心社)など多数。



切り取り

申込み〆切 5月26日(土)

※お願い <当日は混雑いたしますので、申込み、入金は事前をお願い致します>

第43回全国学童保育指導員学校申込書 (九州会場)

2018年6月17日(日)

氏 名	ふりがな		性別	男 ・ 女	指導員歴 () 年目
					保護者 (保護者の方は○を) その他 ()
受講票 送り先	(〒 —)		学童保育 所 在 地	県名	
	クラブ名 *指導員はできるだけクラブの方へ			市町村名	
連絡先	(学童保育電話) () —		(学童保育住所) 〒 —		
講座希望	第1希望 (講座No.)		第2希望 (講座No.)		
弁当希望	有・無	保育希望	名前 () ・ (才) ・ 特記事項 ()		
			名前 () ・ (才) ・ 特記事項 ()		

* 受講料 2500円 弁当代 700円 (* 保育料は当日実費でいただきます。)

合計 _____ 円を添えて申し込みます。

◆講座(13:30～16:30)

	講座	テーマ	講座の内容	講師
基礎講座	1	指導員の仕事と役割	働く親を持つ子どもたちに、家庭と同じような雰囲気の中で過ごせる毎日の生活の場を保障するのが指導員の仕事。指導員の役割と子どもへの関わりについての基本を学びます。	千葉智生 (全国学童保育連絡協議会)
	2	学童保育の生活の組み立てと指導員の仕事	学童保育では、子どもたちはどのように毎日の生活を送るのでしょうか。一日の生活の流れや組み立て、指導員の仕事と必要な実務について学びます。	青井京子 (長崎県佐世保市指導員)
	3	子どもの安全対策・危機管理	学童保育の生活のなかで起こるケガや事故についての予防対策や起きたときの対処、感染症その他の健康管理、防犯、学童保育への来所や帰宅時間の安全対策などを学びます。	吉田 崇 (熊本県菊池市指導員)
	4	学童保育の生活とあそびと活動	学童保育での生活の大部分は遊びです。毎日の生活の場である学童保育でどのように遊びを保障するのか、遊びの大切さと指導員の関わりを学びます。	鍋倉 功 (福岡県福岡市指導員)
生活づくり実践講座	5	発達障害者支援法が2005年から施行(2016年改正)され、発達障害のある子どもの入所も増えています。また、「障害者差別解消法」も施行されました。障害のある子どもたちも含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを実践的に学び、交流します。		
		(A) どの子にも安心安全な環境づくり	人とのやりとりや環境への対応に難しさを抱える、いわゆる発達障がいと思われる子どもが多くいることは否めません。ひと子どもを取り巻く環境の一つと考え、どの子も安心して過ごせる環境づくりについて、一緒に考えたいと思います。	阿部京子 (大分県発達障害指導専門員)
		(B) 気になる子どもの支援について	学童保育の現場で、「自分の決めたとおりのルールでないと我慢できない」、「乱暴が過ぎる」、「ずっと一人の世界に浸って、みんなと遊ばない」など、気になる子どもがいます。なぜそのような行動をするのか、また、どうすれば「気になる行動」が解消していくのかを、実践例をふまえながら学びあひましよう。	福元 巧 (薩摩川内市・麦の芽福祉会常務理事)
		(C) 巡回相談を通して見えてきたこと	近年、地域の小学校から、障がいのある子に向けた支援方法を悩む声が、支援学校に多く寄せられています。巡回相談に取り組む中で見えてきた現場での課題を、事例を通して紹介しながら学び合います。	上原浩子 (中津支援学校教諭)
	6	高学年の子どもを含めた生活づくり	高学年の子どものおかれている状況や願い・思いを確認、高学年自身が居心地の良い生活をつくるのが大切です。高学年の生活や願いを考慮した学童保育の生活づくりを学びます。	田口さとみ (長崎県大村市指導員)
	7	保護者といっしょに子育てするために	わが子が学童保育に楽しく通っているからこそ保護者は安心して働くことができます。子どもたちの生活の様子や、指導員の思い、親の願いを伝えあい、いっしょに子育てするうえで大切にしたいことを学びます。	吉岡美保 (福岡県遠賀町指導員)
	8	子どもたちの性を考える	からだと心が大きく変化・成長する児童期に、からだと心の変化・成長についての基礎知識をはじめとして、生活をともにする大人が学んでおきたいこと、配慮すべきこと、大切にしたいことについて学びます。	浅井春夫 (立教大学名誉教授)
理論講座	9	障害のある子どもの理解を深める	障害のある子どもが入所している学童保育が増え、入所希望も増えていますが、まだまだ条件整備は遅れています。障害児理解を深め、受け入れにあたって大切にしたいことを学びます。	雫石弘文 (元大分県特別支援学校校長)
	10	子どもの権利と学童保育	子どもの権利とは何か。国連子どもの権利委員会の日本政府への勧告などもふまえ、子どもたちが抱えている問題について学びます。指導員として、子どもの権利を大切に、子どもの声に耳をかたむけ、一人ひとりを理解しようとする大切さを学びます。	山下雅彦 (東海大学)
実技講座	11	実技(あそび)	「生活の場」である学童保育では、子どもたちが発達段階に応じて主体的に遊べるよう、指導員は働きかけしています。今回は、伝承遊び、集団遊びを中心に企画していますので、参加者のみなさんといっしょに楽しい講座を作ります。	山本 隆 (沖縄県学童保育連絡協議会)
	12	実技(カウンセリングの手法に学ぶ)	指導員の仕事はコミュニケーション労働といわれます。人間同士の関係ですから、うまくいかないときもあります。円滑なコミュニケーションを図るためにカウンセリングの手法を学びあひまいます。	菅原航平 (佐賀女子短期大学)
課題別講座	13	学校と子どもの生活、学童保育のかかわり	新しい教育課程のなかで授業時間も延び、学校では子どもたちはどのように学んだり、生活しているのか。放課後の生活の場である学童保育との関わりも含めて子どもたちの生活の実態と課題を学びます。	佐伯純子 (福岡県北九州市指導員)
	14	子どもの成長・発達とは～子ども理解を深める	子どもたちはいらいだや不安を募らせています。ともすれば私たちは表に現れる言動にとらわれ、否定的な問題行動としてとらえがちです。指導員として、子どもの成長・発達を理解したうえで、その子は今何を伝えようとしているのかを考え、子どもの願いや心に寄り添った働きかけの大切さを学びます。	山喜高秀 (志学館大学)
	15	「平成28年熊本地震」と学童保育	『平成28年熊本地震』から2年がたちました。施設の維持・確保、子ども・保護者・現場を支える指導員へのケア等、多くの困難があり、現在もさまざまな取り組みが行われています。災害等から日常の生活を取り戻していくために学童保育で大切にしたいことについて交流します。	神田公司 (熊本県学童保育連絡協議会)
	16	学童保育と指導員をめぐる情勢と課題	学童保育は国の基準(省令)と各自治体の条例、「放課後児童クラブ運営指針」にもとづいて運営されています。一方で、『従うべき基準』の廃止または参酌化の検討が内閣府で始められています。これからの学童保育のあり方、指導員の課題を確かめあい、運動の視点を学びます。	佐藤愛子 (全国学童保育連絡協議会)

◆受 講 料：2,500 円

◆申込み方法：参加者の所属する県によって、申込先が異なりますのでご注意ください。

受講料（2,500 円）とお弁当代（700 円・必要な人のみ）を各県別の口座に送金し、その控えのコピーと参加申込書を郵送または FAX で、各県の申込先にお送りください。

- ・ 午後の講座は先着順となります。第2希望までご記入ください。ご記入がないとご希望に添えないことがあります。
- ・ 当日参加も可能ですが、ご希望の講座を受講できない場合があります。
- ・ お弁当と保育は事前申し込みのみです。

* 申し込み先：長崎県：長崎県学童保育連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】
佐賀県：佐賀県放課後児童クラブ連絡会	【詳細は別紙をご覧ください】
熊本県：熊本県学童保育連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】
大分県：大分県放課後児童クラブ連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】
鹿児島県：鹿児島県児童クラブ連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】
沖縄県：沖縄県学童保育連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】
宮崎県：宮崎県放課後児童クラブ連絡協議会	【詳細は別紙をご覧ください】

上記の県以外からの申し込み・送金は、下記まで

申込先：福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 福岡県北九州市八幡東区祇園2-4-22

FAX:093-662-6006

送金先：福岡県学童保育連絡協議会

<郵便振替口座 01730-2-132265 >

* 申込締切：5月26日（土）まで それ以降は、当日受付となります。

* キャンセル：6月2日（土）まで それ以降のキャンセルには、返金できません。

* 受 講 票：受付後5月20日以降に送ります。当日ご持参ください。

（受講票は領収書を兼ねます）

◆保育室：4歳以上。事前申し込みのみ。当日、保険料とおやつ代の実費をいただきます。

◆問い合わせ先：福岡県学童保育連絡協議会 TEL093-662-6000 FAX093-662-6006

◆会 場：春日市クローバープラザ 春日市原町 3-1-7

<交通案内>

*JR「春日」駅より徒歩約1分

*西鉄電車「春日原」駅より徒歩約10分

*西鉄バス「千歳町2丁目」バス停より徒歩約1分

*九州自動車道太宰府ICより車で約20分

● 会場はJR春日駅前です。できるだけ公共機関をご利用下さい。

● クローバープラザ内の 有料駐車場(2時間無料、以後30分につき150円がかかります)をご利用下さい。

● 大型バス マイクロバスでご来場の方で、駐車場が必要な場合は、別途準備いたしますので事前にご連絡下さい。

